令和６年度小矢部市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

小矢部市は、砺波平野の一角を占める稲作単作の穀倉地帯であり、水稲を主体とする農業生産が展開されている。地元産の米価の低迷に対する農家経済の安定対策として、農地の集約化を進めるなど生産コストを下げるとともに、転作主要作物である麦・大豆などの生産拡大や付加価値のある作物の生産・販売が必要である。

一方、農家の高齢化が進んでおり、担い手の育成が緊急の課題となっている。

また、地力の低下による作物の収量・品質の低下が深刻な状況となっている。

令和６年能登半島地震の影響により、水稲作付が困難となり作付け転換を余儀なくされたほ場が発生しており、緊急的な支援が求められている。

２　高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

小矢部市ではハトムギ、エゴマをはじめ、加工用キャベツ、里芋、人参、ヤーコン等、多種多様な作物の生産に取り組んでいる。作付方針として、市内の各地区における圃場条件や生産者の経営体系に合った作物の作付けを推進する。

また、新たな付加価値の向上に向けた取り組みとして、付加価値の高い薬用ハトムギの品種育成や、加工用キャベツの安定生産、エゴマの機械化栽培体系の確立による作付の定着化・拡大を推進する。さらに、生産コストの低減を図るため、生物農薬や排水対策等の低コスト生産技術の導入を推進する。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田の有効活用に向けた取り組みとして、毎年関係機関と連携して実施している転作確認の結果を活用し、数年間水稲を組み入れていない作付体系が定着してないか確認する。その上で、今後の作付体系の見込、生産者の経営体系等を踏まえて関係機関、生産者と協議し、ブロックローテーション方式を用いた栽培体系の推進や畑地化への転換が望ましいと判断される圃場については国の支援等を活用しながら畑地化を推進し、水田の有効活用を図る。

なお、畑地化における作付については各地区の実情に合った作物を推進する。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

需要動向に応じた生産を行うとともに、気象変動に強い稲体にするため、土づくり資材、発酵鶏ふん等を積極的に活用し、土づくりを推進する。

（２）備蓄米

積極的に取組み、作付面積及び生産量を確保する。

（３）非主食用米

ア　飼料用米

市内養鶏農家及び稲葉山牧野に対して安定した供給ができるよう、作付面積を確保するとともに、刈取後の稲わらを稲葉山牧野に提供することによる耕蓄連携を推進する。併せて団地化、直播栽培、多収品種導入等を推進することで低コスト化を図るとともに、収量を確保する。

イ　米粉用米

需要に応じた作付面積及び生産量を確保する。

ウ　新市場開拓用米

引き続き調査・研究を行うことで、輸出用米等による米の新市場開拓を図る。

エ　WCS 用稲

稲葉山牧野をはじめとする畜産農家に対して安定した供給ができるよう、作付面積及び生産量を確保し、耕畜連携を推進する。

オ　加工用米

需要に応じた作付面積及び生産量を確保する。

（４）麦、大豆

需要に応じた作付面積、生産量及び品質を確保し、安定取引を図るため、複数年契約等による栽培を実施する。また、土づくりの実践、湿害を回避するための排水対策の徹底、団地化、二毛作の取組、設定単収（基準単収の７割（麦は９割））以上の単収を得られた場合に対するインセンティブの交付等により、単収の向上を図る。

（５）飼料作物

海外産飼料高騰による国内産飼料需要の高まりに応じた取組として、「子実用トウモロコシ」の作付けにより、国内需給率の向上を推進する。また二毛作、土づくりの実践、複数年契約による栽培の実施により、需要に応じた作付面積、生産量を確保し、安定取引を図る。

（６）そば、なたね

出荷団体等と連携を強め、複数年契約等を進めることにより需要に応じた作付面積、生産量を確保し、安定取引を図る。また、堆肥や土づくり資材を積極的に活用した土づくり、担い手への集積、二毛作の取組、設定単収（基準単収の７割）以上の単収を得られた場合に対するインセンティブの交付等により、単収の向上を図る。

（７）地力増進作物

「クロタラリア」、「セスバニア」などの緑肥作物の作付けの拡大を図ることで、土づくりの取組による高収益作物への転換を推進する。

（８）高収益作物

「ハトムギ」については、加工品開発等に取り組む実需者と連携を図るとともに、土づくりや担い手への集積、二毛作の取組を推進し、収量・品質の向上や生産性の向上を図る。「キャベツ」等の野菜については、水田農業経営の体質強化や、直売所、学校給食等と連携した地産地消の取組等を推進するため、水田を活用した園芸作物等の取組を推進する。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	1,929		1,953		1,953	
備蓄米	195		207		207	
飼料用米	301		276		276	
米粉用米	1				1	
新市場開拓用米	0		1		5	
WCS用稲	3		4		4	
加工用米	50		42		42	
麦	235	60	235	61	240	66
大豆	222	17	225	21	235	24
飼料作物	67	1	75		75	3
・子実用とうもろこし	57		65		65	
そば	12	8	13	8	18	11
なたね						
地力増進作物	27	27	62	62	62	62
高収益作物	308	57	228	42	361	70
・野菜	99	6	93	3	101	7
・花き・花木	4		2		4	
・果樹	28		0		30	
・その他の高収益作物	177	51	133	39	226	63
・ハトムギ	169	51	125	39	218	63
・エゴマ	4	0	4	0	4	0
・薬用作物	1	0	1	0	1	0
・その他	3	0	3	0	3	0
畑地化	0		0		0	

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）		目標値	
				年度		年度	
1・2	麦、大豆、飼料作物、そば（基幹作物、二毛作）	複数年契約助成	複数年契約等対象面積 （うち二毛作） 麦 大豆 飼料作物 そば	R5	536(86)ha 235(60)ha 222(17)ha 67(1)ha 12(8)ha	R8	567(104)ha 240(66)ha 235(24)ha 75(3)ha 18(11)ha
3・4	麦、大豆、そば（基幹作物、二毛作）	収量向上加算	設定単収以上経営体割合 （交付対象面積） 麦 大豆 そば	R5	97%（=28/29） （233ha）310kg/10a 56%（=14/25） （133ha）157kg/10a 25%（=1/4） （1ha）25kg/10a	R8	100%（=29/29） （240ha）310kg/10a 80%（=20/25） （200ha）157kg/10a 100%（=4/4） （17ha）25kg/10a
5・6・7	麦、大豆、そば、飼料作物、ハトムギ（基幹作物・二毛作）	土づくり対策加算	実施面積の維持・拡大 （うち二毛作） 麦 大豆 そば 飼料作物 ハトムギ	R5	332.7（37.3）ha 40.2ha 111.6（16.9）ha 2.0（0）ha 56.9（0）ha 122.0（20.4）ha	R8	441（74.0）ha 50.0（0）ha 140.0（22.0）ha 9.0（6.0）ha 65.0（0）ha 177.0（46.0）ha
8・9	地域振興作物（そば・ハトムギ（基幹作物））	特産振興加算②	そば作付面積 ハトムギ作付面積	R5	3.6ha 118.0ha	R8	7.1ha 155.0ha
10・11	地域振興作物（そばを除く）、その他一般作物（別表参照）（二毛作）	高度利用推進助成（二毛作）	麦跡二毛作実施割合 ※対象外作物も含む ハトムギ 地域振興作物等	R5	47.5% 50.5ha 1.4ha	R8	55.0% 63.0ha 6.2ha
12・13	地域振興作物（そば・ハトムギを除く）、その他一般作物(別表参照)（基幹作物・二毛作）	特産振興加算①	対象作物作付面積	R5	13.7ha	R8	22.0ha
14・15・17	地域振興作物（別表参照）（基幹作物）	地域振興作物助成	対象作物作付面積 ハトムギ そば・ﾊﾄﾑｷﾞ以外 そば	R5	135.3ha 118.0ha 13.7ha 3.6ha	R8	184.1ha 155.0ha 22.0ha 7.1ha
16	その他一般作物（別表参照）（基幹作物）	その他一般作物助成	対象作物作付面積	R5	5.3ha	R8	7.0ha
18	新市場開拓用米（基幹作物）	新市場開拓用米の作付助成	作付面積	R5	0ha	R8	5.0ha
19・20・21	そば、ハトムギ、その他一般作物（別表参照）（基幹作物）	水稲の作付け困難ほ場における代替作物の作付けへの支援	被災ほ場における作付面積	R5	－	R6	0.06ha

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※ 目標期間は3年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：富山県

協議会名：小矢部市農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	複数年契約助成	1	3,500	麦、大豆、飼料作物、そば	複数年にわたる土地利用計画への参加
2	複数年契約助成（二毛作）	2	3,500	麦、大豆、飼料作物、そば	複数年にわたる土地利用計画への参加
3	収量向上加算	1	1,900	麦、大豆、そば	設定単収以上の収量確保
4	収量向上加算（二毛作）	2	1,900	麦、大豆、そば	設定単収以上の収量確保
5	土づくり対策加算（堆肥・発酵鶏糞）	1	5,100	麦、大豆、ﾊﾄﾑｷﾞ、そば、飼料作物	堆肥若しくは発酵鶏糞を施用
6	土づくり対策加算（地力増進作物）	1	8,300	麦、大豆、ﾊﾄﾑｷﾞ、そば、飼料作物	地力増進作物をすき込む取組
7	土づくり対策加算（堆肥・発酵鶏糞）（二毛作）	2	5,100	麦、大豆、ﾊﾄﾑｷﾞ、そば、飼料作物	堆肥若しくは発酵鶏糞を施用
8	特産振興加算②（そば）	1	18,700	そば	計画的な出荷、生産など
9	特産振興加算②（ﾊﾄﾑｷﾞ）	1	20,000	ﾊﾄﾑｷﾞ	計画的な出荷、生産など
10	高度利用推進助成（ﾊﾄﾑｷﾞ）（二毛作）	2	13,100	ﾊﾄﾑｷﾞ	麦跡作付けの取り組み
11	高度利用推進助成（地域振興作物等）（二毛作）	2	17,500	地域振興作物（ﾊﾄﾑｷﾞ、そばを除く）、その他一般作物	麦跡作付けの取り組み
12	特産振興加算①	1	27,900	そば・ﾊﾄﾑｷﾞを除く地域振興作物、その他一般作物	計画的な出荷、生産など
13	特産振興加算①（二毛作）	2	9,200	そば・ﾊﾄﾑｷﾞを除く地域振興作物、その他一般作物	計画的な出荷、生産など
14	地域振興作物助成（ﾊﾄﾑｷﾞ）	1	13,400	ﾊﾄﾑｷﾞ	出荷を伴う生産
15	地域振興作物助成（ﾊﾄﾑｷﾞ、そば以外）	1	18,700	ﾊﾄﾑｷﾞ、そばを除く地域振興作物	出荷を伴う生産
16	その他一般作物助成	1	9,200	その他一般作物	出荷を伴う生産
17	地域振興作物助成（そば）	1	20,000	そば	出荷を伴う生産
18	新市場開拓用米の作付助成	1	20,000	新市場開拓用米	作付けを行うこと
19	水稲の作付け困難ほ場における代替作物の作付けへの支援（そば）	1	10,700	そば	令和6年度能登半島地震の影響を受けたほ場での作付け
20	水稲の作付け困難ほ場における代替作物の作付けへの支援（ハトムギ）	1	12,000	ﾊﾄﾑｷﾞ	令和6年度能登半島地震の影響を受けたほ場での作付け
21	水稲の作付け困難ほ場における代替作物の作付けへの支援（その他一般作	1	19,900	その他一般作物	令和6年度能登半島地震の影響を受けたほ場での作付け

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

別表1

助成対象作物リスト

区　分	作 物 区 分	作　　物　　名
戦略作物	麦・大豆	小麦
		六条大麦
		大豆
	飼料作物	ｽｰﾀﾞﾝｸﾞﾗｽ
		ｲﾀﾘｱﾝﾗｲｸﾞﾗｽ
		子実用とうもろこし
		一年性牧草ｿﾉﾀ
その他の作物	地域振興作物	そば
		ﾊﾄﾑｷﾞ
		里芋
		加工用キャベツ
		玉ねぎ
		にら
		大根
		ﾔｰｺﾝ
		白菜
		加工用トマト
		人参
		かぶ
		エゴマ
		切花
	その他一般作物 （50音順）	ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ
		いちご
		（青さや）いんげん
		うど
		枝豆
		（青さや）えんどう
		おくら
		花木
		かぼちゃ
		ｶﾘﾌﾗﾜｰ
		かんしょ
		きゅうり
		くわい
		ｹﾂﾒｲｼ
		ｺﾞｰﾔ
		ごぼう
		しそ
		春菊
		しょうが
		白瓜
		すいか
		ズッキーニ
		たらの芽
		ﾁﾝｹﾞﾝｻｲ
		とうがらし
		（未成熟）とうもろこし
		ﾄﾏﾄ
		なす
		ねぎ
		ﾊﾄﾑｷﾞ若葉
		葉ねぎ
		ばれいしょ
		ﾋﾟｰﾏﾝ
		ふき
		ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ
		ほうれん草
		まくわ瓜
		豆類ｿﾉﾀ
		みょうが
		ﾒﾛﾝ
		もも
		薬用作物
		山芋
		らっきょう
		ﾚﾀｽ
		ﾚﾝｺﾝ
地力増進加算の取組対象とする作物リスト（整理番号4関係）		
	地力増進作物	ｴﾝﾊﾞｸ
		ﾚﾝｹﾞ
		ｸﾛｰﾊﾞｰ
		ｿﾙｶﾞﾑ
		ﾍｱﾘｰﾍﾞｯﾁ
		ｸﾛﾀﾗﾘｱ
		ｾｽﾊﾞﾆｱ
		ｹﾂﾒｲｼ